



部活動訪問:ワンダーフォーゲル部

2017/5/14

5月14日(日)に、ワンダーフォーゲル部の部室を訪問しました。

当初、ワンダーフォーゲル部は、5月13日(土)～14日(日)に1泊2日で神奈川県秦野市にある塔ノ岳と鍋割山において、「新入生歓迎山行」を行う予定でした。しかしながら、悪天候のため山行を中止し、部室内でのボルダリング練習及び飯盒炊爨(はんごうすいさん)を行いました。

テニスコート側にあるワンダーフォーゲル部の部室に入るとそこには、部員たち手作りのボルダリング壁があります。佐久間教諭と高橋教諭の指導のもと、部員たちは、千葉県総合体育大会クライミング競技に向けて練習に励んでいました。

ボルダリング壁に上るときのコツについて高橋教諭に聞いてみました。

「どのホールド(人工壁にある突起や穴や手で持てる部分)が使えるのか。どのように登るのかを壁に張り付く前にイメージする作業であるオブザベーションをすること。つま先でホールドに立つこと。ハシゴを登るイメージで手足を動かすことだと思います。」とコツを教えてくださいました。

今年度から顧問になった高橋教諭も一緒に練習をしています。



決められたルートに従い登っていく生徒



かわいい女子部員も練習中です



ルートを制覇するとグータッチでお互いの健闘を称え合います。



棒で示されたルートに従い登る練習中の様子



1年生歓迎 飯盒炊爨体験

5月14日(日)の昼頃、練習を終えた部員たちが、生徒昇降口前に集まりだしました。顧問の佐久間教諭の指導のもと、リュック中から登山用バーナー、鍋などが出され飯盒炊爨の準備が始まりました。1年生が、各家庭から持ってきたお米をとき、2年生は、ご飯用のバーナーを2セット、レトルトカレー温め用のバーナーを1セット準備したのち火の番をしました。バーナーの周りに集まった部員たちは、談笑しながらご飯が炊けるまで待ちました。顧問の佐久間教諭の「ご飯が炊けたわよ。」の合図で部員たちはご飯をよそり始めるのですが、驚いたのは、2年生部員の1人が「1年生からご飯をよそり先に食べていいぞ。」と言ったことです。これは、ワンダーフォーゲル部に根付いている習慣だそうです。本来であれば、山でご飯を炊きカレーを食べるはずでしたが、形を変えた新入生歓迎の飯盒炊爨体験となりました。練習後に食べたカレーの味は忘れられないものになったのではないのでしょうか。



慣れない手つきでお米をとぐ1年生部員



とき終わったお米と適量の水をなべに入れガスバーナーで、ご飯を炊きます。



レトルトのカレーを温めます。



炊きあがったご飯



※ご飯を先に食べられるのは1年生です。

ご飯を器によそる時、鍋をおさえてあげる2年生。後輩思いの優しい先輩たちですね。

